

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 人権・男女共同参画課  
 担当名: DV対策担当  
 内線: 2925

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P6	DV被害者等に対する自立支援強化事業			一般会計	総務費	県民費	男女共同参画推進費	ドメスティック・バイオレンス総合対策事業費		
事業期間	令和3年度～ 令和8年度	根拠法令	配偶者からの暴力防止及び被害者の保護等に関する法律		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール	
					分野施策	0704	人権の尊重		SDGsターゲット	
1 事業概要	DV被害者等の支援を行う民間団体の新たな人材確保を促し、自立支援を強化するとともに、婦人相談センター入所者に対し退所後に向け心のケアや就業支援を行う。			5 事業説明						
	ア 自立支援サポーターの養成・登録 経費節減による減額 △199千円			(1) 事業内容						
	イ 登録サポーターのインターンシップ 参加者数の減による減額 △512千円			ア 自立支援サポーターの養成・登録 791千円 地域でDV被害者を支援する「自立支援サポーター」を養成し、登録制度を設け活動を促進する。						
				イ 登録サポーターのインターンシップ 676千円 意欲のある登録サポーターに団体でのインターンシップを実施し、団体スタッフへのマッチングを行う						
				ウ 婦人相談センターでの「生活リスタート準備講座」の実施 806千円 退所後の就労による自立を支援するため、一歩を踏み出すための準備講座を実施						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画						
				ア 自立支援サポーター養成講座(定員20人 4日間 12コマ) 民間団体スタッフフォローアップ研修(定員50人)						
				イ 登録サポーターインターンシップ(10人)						
				ウ 個別カウンセリングによる仕事相談、就職の動機づけ、パソコン講座等の仕事準備及び心と体のケア (週3回×12月)						
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果						
				厳しい財政基盤で人材が不足している運営体制が脆弱な民間支援団体のスタッフが定着することにより、きめ細やかな個別支援が安定して実施できる。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況						
				DV被害者を支援している団体と連携して、DV被害者の自立支援等を実施している。						
				(5) 補正予算の概要						
				報償費: インターンシップ参加者が想定を下回ったことによる減額						
				その他: 研修経費等の節減を図ったことによる減額						
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△711								△711	1,562
現計額	2,273								2,273	

## 事業内訳書

事業名	DV被害者等に対する自立支援強化事業		
単位事業名	自立支援サポーターの養成・登録	予算額	△ 199千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△199	—	
合計	△199	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△29	—	経費節減による減
需用費	△150	—	経費節減による減
役務費	△20	—	経費節減による減
合計	△199	—	

単位事業名	登録サポーターのインターンシップ	予算額	△ 512千円
-------	------------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△512	—	

単位事業名	登録サポーターのインターンシップ	予算額	△ 512千円
-------	------------------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△512	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△512	—	参加者が想定を下回ったことによる減
合計	△512	—	